

平成31年度 課題研修

1 研究主題

基礎・基本の確実な定着を目指す指導法の研究（算数科）

～表現力を育て、学びを深める指導の工夫～

平成28年度から30年度の3年間にわたり、春日部市教育委員会研究委嘱を受け、「基礎・基本の確実な定着を目指す指導法の研究～表現力を育て、学びを深める指導の工夫～」を主題に研究に取り組んでいる。28年度は、算数科の学習の中で、特に問題を読み解き立式する段階、自分の考えを表現する段階、練り上げの段階、まとめの段階で活かす授業の「型」を確立することを目指して取り組んできた。成果としては、本校として算数科の授業の1時間の学習過程を確立、既習を活かした課題解決型の授業展開をすること、自分の考えを十分にもたせること、考えを交流し「速く、正確、簡単」な考えを練り上げること、学習課題に正対した振り返りなどが挙げられる。

29年度は、算数科における「言語活動」の在り方を明確にすることで、算数科における「生きて働く国語力」についての研究を深め、学びを深める児童の育成を目指すこととした。研究の2年次にあたり、研究の重点を、「学年間の系統性」を意識し、基礎・基本の確実な定着を目指す算数指導の確立を目指すこと、また、これまでの国語研究の成果を活かし、言語活動の重要性を踏まえ、算数科においても「言語活動」を明確にした上で授業構想するとともに、相手・目的意識を明確にした交流の場で、自分の考えを表現できる子どもの育成を目指して取り組んできた。成果としては、系統性を重視した授業の意識が高まったこと、「算数科における言語活動」を通して指導をする意識が高まったこと、本校が重要と考える数学的な表現を明確にしたことなどが挙げられる。課題としては、本校が重要と考える数学的表現力の更なる育成、授業者が考える学習者の学びの深まりの手立てとその見届けなどが挙げられる。

30年度は新学習指導要領への移行期にあることも見据え、これからの時代に必要な資質・能力の育成を目指し、授業研究を基盤に各部会が連携し、これまでの国語研究の成果を算数科の中で表現力を育むことに活かしたり、不断の授業改善をとおして学びを深める授業を展開したりし、これまで以上に「基礎・基本の確実な定着」を実現するべく、研究を進めてきた。成果としては、児童の多様な考えが引き出たこと、自分の考えを論理的に説明できる児童が増えたことが挙げられる。

今年度から3年間にわたり、春日部市教育委員会研究委嘱を受け、「基礎・基本の確実な定着を目指す指導法の研究（算数科）」を主題に研究に取り組んでいく。

今年度は算数科で、既習事項の定着を図り、数学的活動を通して筋道を立てて考えさせたり、交流を通して、相手意識をもった「話す・聞く」などの活動を行ったりして、表現力を育て学びを深める授業を展開し、「基礎・基本の確実な定着」を目指し、研究を深めていきたい。

2 研究の仮説

- 1 学年間の系統性を意識し、既習事項の確実な定着を図り、見通しをもち課題を解決できるようにすれば、学びを深めることができるだろう。
- 2 数学的活動を通して、筋道を立てて考えをもてるようにすれば、表現力を育てることができるだろう。
- 3 交流を通して、相手意識をもった「話す・聞く」などの活動を行えば、学びを深めることができるだろう。

※学習過程に沿った仮説としてみた。

仮説1 つかむ、見通すの過程

学年間の系統性を意識し、既習事項の確実な定着を図り、見通しをもち課題を解決できるようにすれば、学びを深めることができるだろう。

見通し

全体で見通しをもつことで誰もが1つは解決方法が見つけられる。



自力解決に取り組める



1つの方法を解決できれば他の解決法にも目を向けることができる。

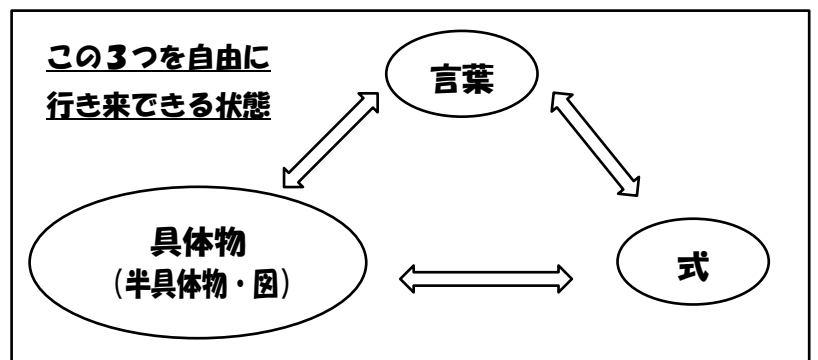


学びが深まる

仮説2 考えるの過程

数学的活動を通して、筋道を立てて考えをもてるようにすれば、表現力を育てることができるだろう。

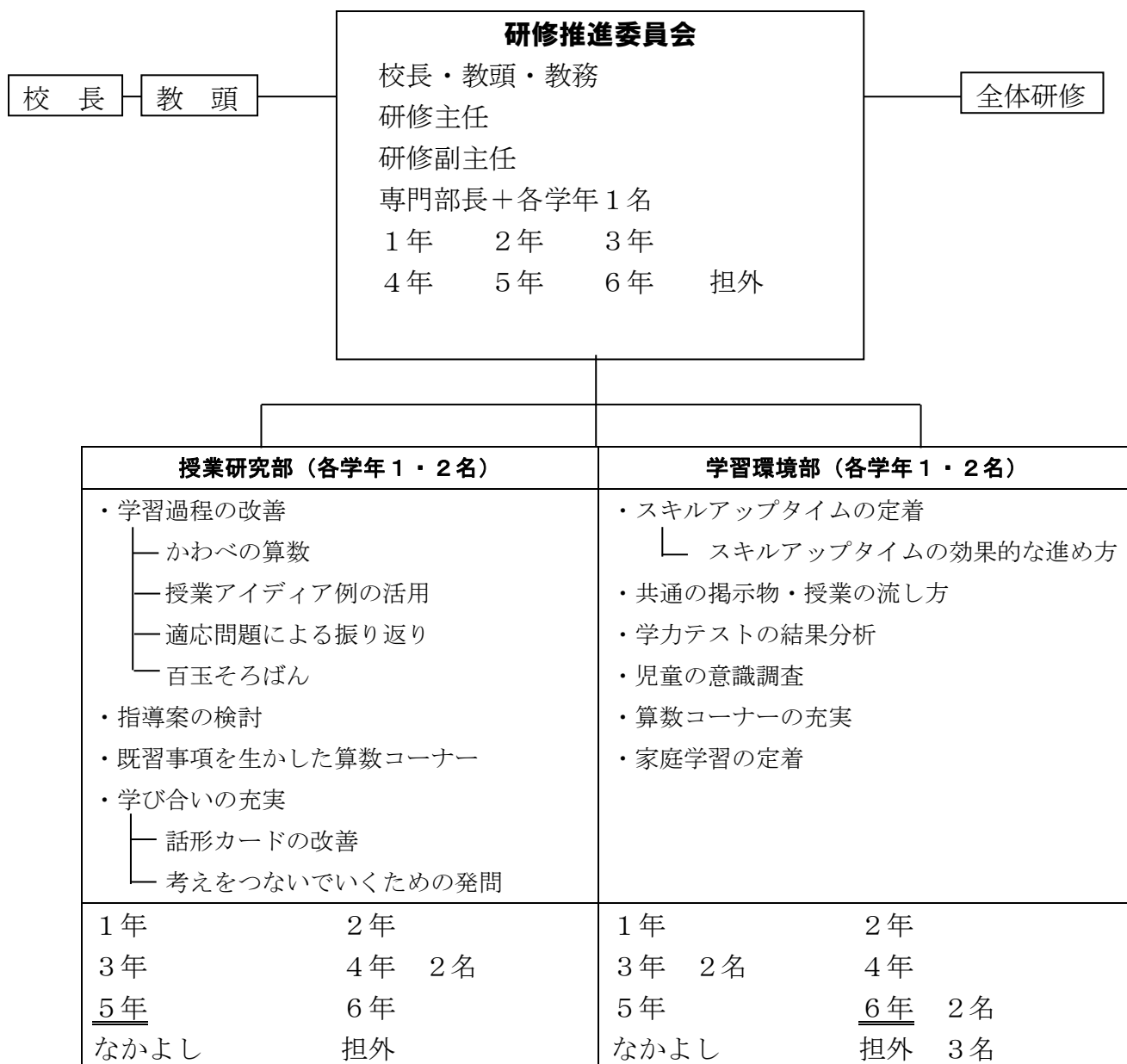
数学的活動 → 半具体物の操作
式、図、言葉



仮説3 深めるの過程

交流を通して、相手意識をもった「話す・聞く」などの活動を行えば、学びを深めることができるだろう。

◇ 研究組織



_____は、専門部長を表す。

低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック
1年担任	3年担任	5年担任
2年担任	4年担任	6年担任
なかよし・担外	なかよし・担外	担外

◇ 研究の予定

月	日	形態	研修内容
4	3 (水)	全体会・専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・研究組織づくり ・研究の進め方などの共通理解について ・年間授業計画 ・各部会の活動
	18 (木)	専門部会	
5	9 (木)	専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作成 (年) ・各部会の活動
	16 (木)	専門部会	
	23 (木)	専門部会	
6	6 (木)	専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会の活動 ・指導案作成 (年) ・各部の活動
	13 (木)	授業研究会 (年)	
	20 (木)	専門部会	
7	5 (金)	授業研究会 (年)	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の活動
	26 (金)	全体会・専門部会	
8		専門部会 指導者による講演？	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の活動
9	5 (木)	全体会・専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の活動 ・指導案作成 (年) ・各部の活動・指導案検討
	19 (木)	専門部会	
10	3 (木)	授業研究会 (年)	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の活動 ・指導案作成 (年) ・各部の活動
	10 (木)	専門部会	
	17 (木)	専門部会	
11	7 (木)	授業研究会 (年)	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の活動
	21 (木)	専門部会	
	25 (月)	授業研究会 (年)	
1	16 (木)	全体会・各学年	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動について
2	6 (木)	授業研究会 (年)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の振り返り ・紀要作成
	13 (木)	専門部会	
	20 (木)	専門部会	
3	12 (木)	全体会	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度のまとめと来年度の研修について

*授業研究会の司会、記録（ノート、デジカメ）は、ブロックの学年が行う。